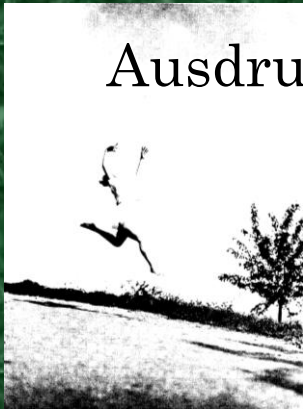


2010年3月15日(月)

名古屋大学大学院 国際言語文化研究科

スーザン・マニング教授 講演会



Ausdruckstanz trans the Atlantic [in the USA]

大西洋を越えたドイツ表現舞踊

コメンテーター：石井達朗

司会：山口庸子 通訳者：山之内悦子

名古屋大学 文系総合館7F カンファレンスホール

東山キャンパスマップ <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/> 65 番

午後2時30分より 使用言語：英語・日本語 通訳付き

入場無料・予約不要

講演者：スーザン・マニング(Prof. Susan Manning)、ノースウェスタン大学、英文学・演劇学・パフォーマンス学教授、2005年から2008年までアメリカ舞踊史学会会長。著書に、戦間期ドイツの代表的舞踊家メアリー・ヴィグマンのモダニズムからファシズムへの変遷を論じた *Ecstasy and the Demon: Feminism and Nationalism in the Dances of Mary Wigman* (1993; 2nd ed. 2006)、1930年代から50年代のニューヨークにおける、モダンダンスとアフリカ系アメリカ人の舞台ダンスとの関係を論じた *Modern Dance, Negro Dance: Race in Motion* (2004)がある。近年では、*Danses noires/blanche Amérique* (2008)(フランス国立ダンスセンター展覧会)の企画立案・カタログ編集も担当。南北アメリカ大陸、ヨーロッパ、アジア、アフリカまで視野に入れた、比較文化的モダンダンス史研究を構想している。

コメンテーター：石井 達朗(Prof. Tatsuro Ishii) ニューヨーク大学(NYU)演劇科(1979-81)、パフォーマンス研究科(87-89)、フルブライト及び ACLSによる研究員。慶応大学名誉教授、早稲田大学グローバル COE 客員講師、同大学院文学研究科非常勤講師。カイロ国際実験演劇祭(2002年)、朝日舞台芸術賞(2001-2004)、トヨタコレオグラフィアワード(2006-2008)審査員。舞踏フェスティバル(韓国・ソウル)実行委員長(2005)。アジアの祭祀芸能、パフォーマンス論、現代舞踊の評論と研究。著書に『ポリセクシュアル・ラブ』、『異装のセクシュアリティ』、『男装論』、『サーカスを一本指で支えた男』、『サーカスのフィルモロジー』、『アクロバットとダンス』、『身体の臨界点』など。

本講演会は、平成 20-23 年度科学研究費補助金 基盤研究 B「境界の消失と再生—19 世紀後半から 20 世紀初頭の欧米文学」(研究代表者：西川智之)によって行われるものです。

連絡先 山口庸子 k46439a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp